

**I 第31週の発生動向 (2010/8/2~2010/8/8)**

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内において第28週から**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第22週から**警報**が継続しています。
3. ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内において第30週から、弘前保健所管内においては第27週から、上十三保健所管内においては第28週から**警報**が継続しています。

**II 第31週五類感染症定点把握** 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ															0				
小児科 (74) RSウイルス感染症					1	0.1							1	0.0	-3				
(75) 咽頭結膜熱					1	0.1			3	0.5	7	1.8	11	0.3	-13				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.2	2	0.2	2	0.2	4	0.8	3	0.5	4	1.0	17	0.4	3			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	13	1.4	4	0.4	6	0.7	4	0.8			16	4.0	43	1.0	1	4	4.0	9	1.1
(78) 水痘	7	0.8							7	1.2	10	2.5	24	0.6	-9			7	0.9
(79) 手足口病	4	0.4	3	0.3	20	2.2	5	1.0	10	1.7	2	0.5	44	1.0	8			4	0.5
(80) 伝染性紅斑	10	1.1							15	2.5	2	0.5	27	0.6	-4			10	1.3
(81) 突発性発しん	7	0.8	3	0.3	5	0.6	2	0.4	3	0.5	3	0.8	23	0.5	9			7	0.9
(82) 百日咳									1	0.2			1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ	96	10.7	58	6.4	6	0.7	9	1.8	26	4.3	12	3.0	207	4.9	-14	16	16.0	80	10.0
(84) 流行性耳下腺炎	10	1.1	4	0.4	7	0.8	2	0.4	1	0.2			24	0.6	-7	5	5.0	5	0.6
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	4	2.0	1	0.3			1	1.0	1	0.5			7	0.6	5			4	2.0
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					1	1.0							1	0.2	-4				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

**III 表II以外の感染症法対象疾患**

(注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前3人、八戸2人、五所川原1人、上十三1人、青森市1人 (22年計:154人)
- (14) 細菌性赤痢(三類全数把握疾患)：青森市1人 (22年計:1人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：八戸1人 (22年計:2人)

**IV 病原体検出情報**

- ・病原体情報はありませんでした。
- ☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

**感染症の窓**

**細菌性赤痢**

(三類全数把握)

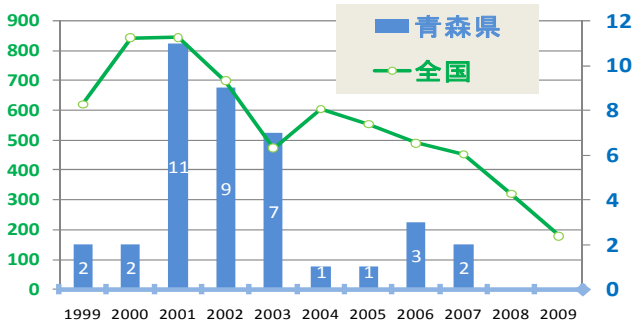


表 2010年第30週までの患者数 累計98人

東京都	41	北海道	2	茨城県	1	奈良県	1
神奈川県	10	静岡県	2	栃木県	1	和歌山県	1
千葉県	6	愛知県	2	群馬県	1	山口県	1
福岡県	6	滋賀県	2	埼玉県	1	香川県	1
兵庫県	4	大阪府	2	長野県	1	佐賀県	1
福島県	3	広島県	2	岐阜県	1	長崎県	1
三重県	3			京都府	1		

※2010年に届出があった都道府県です

**図 全国および青森県の届出数年次推移**

本疾患は、赤痢菌の経口感染で起こる急性感染性大腸炎です。症状は大腸の化膿性炎症、潰瘍形成による水様性下痢、膿・粘血便の他、全身倦怠感、発熱、腹痛、しぶり腹等があります。赤痢菌属には、*S. dysenteriae* (A群), *S. flexneri* (B群), *S. boydii* (C群), *S. sonnei* (D群) の4菌種があり、国内で最も多く発生している菌種は *S. sonnei* (D群) です。当該週、本県において届出のあった本疾患の原因菌種は *S. flexneri* (B群) でした。国内では年々減少傾向にはありますが、2010年第30週において26都道府県において患者の届出があります(図、表)。国外での感染事例が80%以上とされており、流行地域(日本を除くアジア等)では生もの、生水、氷などは飲食しないことが重要です。国内においては、少ない菌量でも経口的に感染するため飲食前後などの手洗いの励行が重要になります。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（注：届出状況は速報値です）単位：人 2010年第8週～第30週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
8	H22.2.22 ~ H22.2.28	コレラ1人	ウイルス性肝炎1人 急性脳炎1人				
9	H22.3.1 ~ H22.3.7						
10	H22.3.8 ~ H22.3.14		ジアルジア症1人				
11	H22.3.15 ~ H22.3.21		アメーバ赤痢1人				
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	後天性免疫不全症候群1人					
13	H22.3.29 ~ H22.4.4						
14	H22.4.5 ~ H22.4.11			麻しん1人			
15	H22.4.12 ~ H22.4.18					麻しん1人	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H22.4.26 ~ H22.5.2						
18	H22.5.3 ~ H22.5.9						
19	H22.5.10 ~ H22.5.16				つつが虫病1人		
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	A型肝炎1人	ウイルス性肝炎1人				
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人			
22	H22.5.31 ~ H22.6.6			つつが虫病1人			
23	H22.6.7 ~ H22.6.13		つつが虫病1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人		
24	H22.6.14 ~ H22.6.20	アメーバ赤痢1人					
25	H22.6.21 ~ H22.6.27	つつが虫病1人				つつが虫病1人	
26	H22.6.28 ~ H22.7.4						
27	H22.7.5 ~ H22.7.11	つつが虫病1人		レジオネラ症1人			麻しん1人
28	H22.7.12 ~ H22.7.18			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H22.7.19 ~ H22.7.25						
30	H22.7.26 ~ H22.8.1					麻しん1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) 2010年第8週～第30週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
8	H22.2.22 ~ H22.2.28	1			1		
9	H22.3.1 ~ H22.3.7		3	1	2	1	
10	H22.3.8 ~ H22.3.14	2	1		3	1	
11	H22.3.15 ~ H22.3.21	1		5			
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	1	1	1	2		
13	H22.3.29 ~ H22.4.4	2		2			
14	H22.4.5 ~ H22.4.11	2					
15	H22.4.12 ~ H22.4.18	1		2	1	2	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25	1					
17	H22.4.26 ~ H22.5.2				2	2	
18	H22.5.3 ~ H22.5.9	2		1			
19	H22.5.10 ~ H22.5.16	1	3				
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	1	1	1		1	
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	2	1	1	2	1	
22	H22.5.31 ~ H22.6.6	1	1	1	2	2	1
23	H22.6.7 ~ H22.6.13		3			1	
24	H22.6.14 ~ H22.6.20		7	1			
25	H22.6.21 ~ H22.6.27	2	1				
26	H22.6.28 ~ H22.7.4			6		1	
27	H22.7.5 ~ H22.7.11	1	1	1		1	
28	H22.7.12 ~ H22.7.18	2	3		1		
29	H22.7.19 ~ H22.7.25	1	1				
30	H22.7.26 ~ H22.8.1	2	1	2	1		

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）2010年第1週～第30週

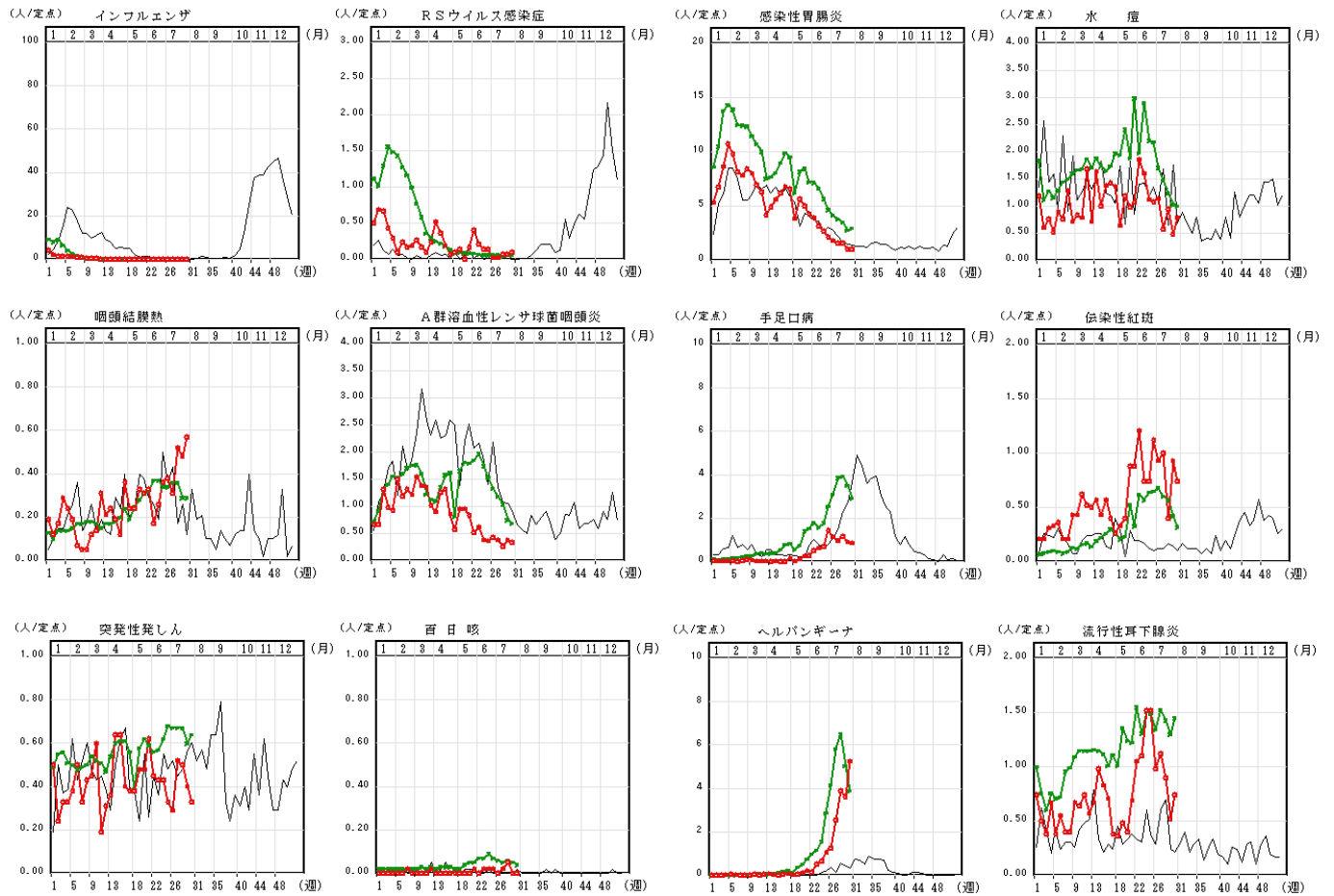
（注：届出状況は速報値であり、本県で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2010年8月10日9時速報値

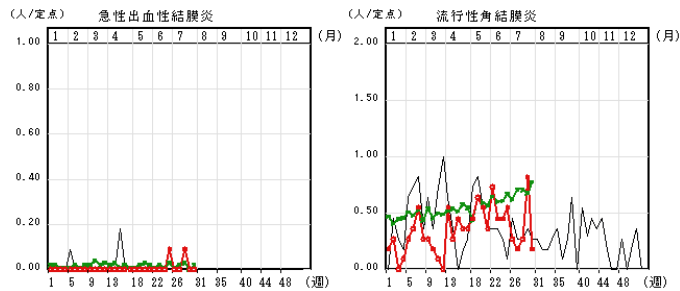
	結核	コレラ	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	麻しん
青森県	146	1	1	1	9	1	3	2	1	1	1	1	5
全国	14324	4	1734	280	110	389	464	115	143	94	845	47	323

グラフの説明 ○—○は2010年青森県、——は2009年青森県、○—○は2010年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第30週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第30週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第30週

